

1票差 23億7千万円ケーブルテレビ全市拡張へ

ケーブルテレビ 事業関係予算



田中よしゆき

後援会 ニュース

2012年3月号
編集発行人
社会民主党
田中義幸

第5回 報告

1面 ケーブルテレビ全市拡張
2面 平成24年度一般会計予算
3面 一般質問
4面 住民説明会・討論・他



郵便受けに勝手に投函しますことをお許しください

平成24年度一般会計予算として嘉麻市全土にケーブルテレビを拡張する議案が出された。この計画は、平成22年6月議会で将来負担が不透明であること、加入者動向を調べるアンケート調査がなされていない等の理由で二度否決されていた。

予算特別委員会での主な質疑応答
松本総務課長 センター設備はしても金ばかりかかるとも金ばかりかかるとも基本サービスの金が入る。広げ



た方が良いとの結論だ。
他の議員 人件費が入っていない。山田だけでも8億円、全市拡張すれば34億の赤字。基本料金は脱退者がいないところの数字だ。
課長 人件費は交付税に入っている。一般会計から繰り入れる。
他の議員 ケーブルをやらなくても交付税は来る。だから、計上しなければならぬ。
課長 意味が分からない。
財政課長 職員数の増減で交付税は変わらない。
他の議員 仕組みが分からない。予算ベースで作るから問題だ。

よしゆき 重要な政策についてはアンケート調査、パブリックコメント等をしなければならぬとされている自治基本条例に反している。
市長 緊急性があるのでアンケートをとらない。アンケートをとっても実際に見た事がない市民は良さが分からない。
よしゆき 情報とは何か
市長 道路と一緒にこれがないと企業は来ない。
よしゆき 緊急性とは。
市長 合併特例債が平成27年度で終わる。早く取り組まなければ情報の孤島になる。

他の一般会計 予算の質疑

よしゆき 福祉バスについては、稲築地区と、確井地区で運行形態が違うので今後統一すべきではないか。
回答 担当部署を設置し、



地域協議会を開き調整する。
よしゆき 行政区長と組長の手当てについて、均等割りを減らし人頭割を増やすべきではないか。
回答 今後検討する。
よしゆき 防犯灯について、税外負担をする場合、法によらなければならぬ。嘉麻市でも条例化すべきではないか。
回答 条例化はしない。

よしゆき 民生委員会補助金について、ボランティアに依存している。民生委員の活動をもっとPRすべきだ。補助金の一律削減はおかしい。
回答 PRに努める。民生委員には感謝している。
よしゆき 男女共同参画

推進について、拠点施設設置が条例に明記されている早急に設置すべきだ。
回答 夜間の利用や警備の関係で調整中だ。
よしゆき 河川・井戸水の水質検査の方法や資料保管年月日は。
回答 後日資料を出す。
よしゆき ゴミの不法投棄美化条例の周知徹底と「料」を「過料」にする条例改正は。
回答 広報や、狂犬病検診のときチラシを配る。条例改正はしない。
よしゆき 薬草園は管理上問題がある。民間に払い下げるべき。
回答 検討したい。

よしゆき 鴨生地区の水害は三井鉱山跡の山が原因だ。原因者に対策を。
回答 現在所管がかわっているの対策できない。
よしゆき 原爆の火、管理条例はどうする。
回答 内部で調整する。

よしゆき つるかめ振興券でなく敬老祝い金を増額すべき。
回答 検討する。
他の議員 防犯灯の設置要請は
回答 隣組で維持管理してもらおうなら設置する。
他の議員 消防車、小型ポンプの設置場所は。
回答 確井の車両を他に回す。小型ポンプは稲築嘉穂に各1台。
他の議員 火葬場建設は。
回答 6月予算化したい。
他の議員 古紙回収の補助金は。
回答 キロ8円。(調査結果、2円が業者渡り)

コラム 【税外負担】
法令の根拠に基づかない住民負担で、地方公共団体が、本来公費で負担すべき経費を住民に負担させているもの。地方自治法第228条1項、分担金、使用料、加入金、手数料は法律または条例によらなければならない。

他の議員 保護、親子二代で受給している。
回答 問題と考える。
他の議員 太陽光発電会社、誘致断つたのか。
回答 断っていない。
他の議員 有害鳥獣駆除補助金値上げを。
回答 平均より高い。
他の議員 嘉穂小学校造成工事いつまで。
回答 建設技術センターに依頼している。設計を見直した。
他の議員 日赤建て替え事業1千万円の補助の件。
回答 総合病院として今の場所に残す。山高跡地利用も考えている。
他の議員 社協の監査を実施すべきだ。
回答 他の法人で難しい。

予算委員会
賛成 10
反対 9
承認された

介護保険料の引き上げ

平成24年度から平成26年度までの3年間保険料を現行の月額5500円から10000円増の6500円とする議案が出され承認された。

理由は、介護報酬率が1.2%アップすること、臨時交付金が終了すること、財政安定化基金交付金が交付されること、第5段階と第6段階の基準所得金額が200万円から190万円になること、第1号被保険者負担割合が20%から21%になるためとした。

委員会の採決承認

理由は、介護報酬率が1.2%アップすること、臨時交付金が終了すること、財政安定化基金交付金が交付されること、第5段階と第6段階の基準所得金額が200万円から190万円になること、第1号被保険者負担割合が20%から21%になるためとした。

基準額の比較

全国 4972円
福岡県 5165円
飯塚市 5890円
嘉麻市 6500円で、県下では一番高い。

本会議採決承認

30人以下学級へ加速

小中学校全学年編成を30人以下にする議案が提出され、全会一致で承認された。

嘉麻市では従来から小学校5年生、中学校の一部を30人以下学級にしてきたが、これを小

学校、中学校全学年を30人以下学級にすることが提案された。

教育委員会から、学力に合ったキメ細やかな生活指導や、学習指導ができること、教師と児童・生徒とのつながり、子供同士のつながりが強くなっていること、成績もアツ

稲築岩崎児童遊園地を廃止するための議案

西尾崎行政区より、高齡化が進む中、児童数が減少しており、この公園を利用する児童がいないこと、行政区で草刈を行っているが、その作業に追われているとして、廃止し宅地として売り払えば地域発

岩崎児童遊園地条例の一部改正

なお、住宅課によると、公営住宅の空き地の有効活用であるが、畑、園芸や駐車場とする利用希望者には貸し出しも可能とのことだ。

全会一致承認

プしていること、など効果が上がっていると報告があった。



高穂地区小学校

平成24年3月5日にて特別委員会が開かれた。

【主な質疑応答】

- 運動会の時駐車スペースはどのくらいか。
- 現行80台と、夢サイト1200台の計2000台。他、河川敷を利用する。
- 夢サイト駐車場を市民に断りなくつぶしている。おかしい。
- 市民に意見を聞かなかったことは謝罪する。
- 工事が遅れている。
- 計画が延びないよう建築技術センターに依頼している。
- 通学対策は、24年度までにバス運行形態を5校毎に集約している。
- 跡地利用は協議会を作って対策を願う。
- 地域コミュニティの拠点だった。公募する。
- 職員、臨職の異動は、職員69名が31名に、正規職員は異動、臨職12名は減。
- 造成工事と建設工事設計は、建設工事の設計は建築
- 技術センターに委託した。
- 議会運営委員会で適合の疑いが示唆された。
- 談合情報はなかった。任用書を元に入札する。
- 入札結果99%だ。3社辞退し入札した。辞退した理由書を取るべきだ。
- 委員長 競争の原理が働くよう要望する。
- 議長 今後このようなことがあれば、県警に調査依頼する。
- よしゆき 入札は一般競争入札が前提だ。嘉麻市には一般競争入札の条例がない。枠を広げて入札すべきだ。



【経過説明】

プール建設指名競争で、5社指名したが、3社辞退、2社のJVが入札し、99%を超える落札率だった。学校建設工事費に12億7千756万8千円が計上された。

議会改革特別委員会

次回一般選挙から 議員定数削減

定数22人から20人へ

2012年1月25日に議会改革特別委員会が開かれ、議員報酬、議員定数、政務調査費について話し合われた。

定数について主な意見
・ 減らせば良いというものではない。歳費を上げる意見もある。

・ 議員の意識改革も図るべき。
・ 答申があいまい。根拠を示すべきだ。
・ 定数を先に削減賛成17人
・ 削減反対3人
・ 削減賛成17人
・ 削減反対3人
・ 国保税も大幅アップ、削減すべき。

527万円×5%×22人=579万7千円
527万円×2人=1054万円
5%削減と2人減の効果比較

・ 議員の意識改革も図るべき。
・ 答申があいまい。根拠を示すべきだ。
・ 定数を先に削減賛成17人
・ 削減反対3人
・ 削減賛成17人
・ 削減反対3人
・ 国保税も大幅アップ、削減すべき。

3月議会定数20人で条例案提出決定

現在 24年4月現在 政務調査費を請求していない議員は 田中 義幸 議員、森 裕治 議員、廣方 悟 議員

よしゆきの一般質問

ケーブルテレビ事業追求

よしゆき 自治基本条例で市民に重要な影響を及ぼす案件については、市民に意見を求めなければならぬことになっていて、これに反している。

市長 情報の基盤整備事業は嘉麻市にとって起爆剤、緊急を要する。

よしゆき 市長は反していないと、私は反しているという意見が対立している。推進委員会、自治基本条例が機能しているか調査し、建議することができる。市長は客観的に判定してもらうため、同委員会に諮問して頂きたい。

市長 全くその気持ちはない。
よしゆき 緊急を要すること判定するのは誰か。
市長 私が判定する。
よしゆき 市長が緊急と言えはすべて緊急になる。この自治基本条例はそういうことで制定されたのか。
市長 ケースバイケースだ。
よしゆき 私たちは、緊急を

要すると思っていない。合併特例債は延長になる。

よしゆき デジタルSTBの市場価格と嘉麻市購入価格の違いについて、メーカーに問い合わせた。説明にきたといった。しかしメーカーは説明にきたといった事はなかった。担当課のほうで事実誤認があったと謝罪した。

市長 9月議会で、指摘したが、価格調査すると市長もいった。その後どうなったか。

松本総務課長 メーカーの見積書を確かめ間違いなかった。
よしゆき 回答になっていない。実勢価格を調べたか。
松本課長 メーカーと直接取引していないので、調査の対象にならない。
よしゆき 実勢価格を示し、リース契約が高いといったら調べると言った。
市長 何度も言っているが、適正に行われた。
よしゆき 平成23年3月31日にデジタルSTB2500台導入の指名競争入札が行われ

た。5社辞退、1社欠席で残り1社になったので、指名競争入札を中止し、予定価格の99.875%で随意契約でQKリースと交わしている。確認できるか。

松本課長 予定価格168万だ。

よしゆき このとき、業者利益が7032万円になり、不当に高い価格を出している。このことを調べたか。

松本課長 設置工事費を含めたリース契約だ。正式な見積を元に適正な予定価格を設定した。これ以上調べることがない。

よしゆき 昨年12月に市長室で、デジタルSTBの請求書を見てもらった。市長は問題があるの、ケーブルテレビ業務委託会社の随意契約を改め指名競争入札にかけたかとい

市長 担当課にどうかならんいかといったが、指名のルールでやっているとのことだったので問題がないと結論出した。

よしゆき 業者説明会はいつか。
中嶋財政課長 23年3月25日だ。

よしゆき 3月26日は土曜日、3月27日は日曜日だ。入札まで実際に動けるのは28、29、30日の3日だ。セットトップボックス施設設置リース料の特記仕様書によると屋内配線、工事1、2、3、4があるが

どういった内容か。



松本課長 屋内の設置だ。難度が違うので分類している。

よしゆき 机上計算できるか。
松本課長 コンサルが調査しているからできる。

よしゆき まさしくそうだ。設計屋じゃないと分からない。現場を見ないと積算が出せない設置工事費だ。現説が3月25日実際に動けるのは3日だ。リース会社は金融業者で、実際に設置工事するには電工に下請する。下請は現場を確認して下請価格を出す。3日ですべて対応できない。

松本課長 調査する時間はあったと思う。

よしゆき 指名された会社に確認取った。3日でもできるものではないと。わざと対応できない状態で指名をかけたのではないか。恣意的なものではなかったか。

松本課長 一週間ある。土、日出てきてやるべきだ。

よしゆき リース会社は業者を見つけないといけない、しかし、土、日は休みだ。3日あるが、設置工事は現場を見なければ分からない。

松本課長 辞退した会社から苦情はない。

よしゆき 本音は違う。逆に何故Q・Kリースは対応できたのか。疑問に思う。

市長 指名のルールに従ってやっている。何も不正をしたというのではない。
よしゆき 不正を追求する時間、ノウハウもない。執行部がキチンと回答すれば良いが、ますます疑問が深まる。平成22年11月にケーブル施設改修工事を行っているが、21社指名して、19社辞退だ。その時約1億6千万円で落札しているが、この議案は21年度に約4億9千万円で出され、否決されている。その後約

3億円減額し通った。何故最初から3億減額しなかったか。デジタルSTBの設計価格の設け方、リース会社が対応できない日程の組む方、リプレー事業の不自然な予算計上、これらは全て今のコンサルがしている。また、このコンサルと随契約しようとしている。断固異議申し立てる。

よしゆき 市長は一本化算定になれば16億円足りないといっている。そして更に設備投資せねばならない。危うい計画だ。嘉麻市の財政が危うくなったとき誰が責任取るのか。

松本課長 全市拡張すれば収支が改善する。

市長 他の地区に情報が張り巡らされると、嘉麻市は情報の孤島になる。
よしゆき ケーブルテレビは古い。いまや、光回線を使ったブロードバンド事業だ。



★一般質問、住民説明会、討論★

よしゆき 臨時職員の労働条件改善について、組合加入したいということであれば、組合加入もできるし、いろんなこと(団体交渉)ができることを指導してもらいたい。

田中人事課長 労働組合加入により、解雇または不利益に処分することは、労働組合法7条に不当労働行為にならるので、人事としてやるべきではないと考えている。労働組合も囑託職員も

臨時職員の労働条件改善について

加入できるという形で動いている。組合加入について不利益なことはしない。

CVT有料化住民説明会

ケーブルテレビ視聴有料化の住民説明会が24年2月1日熊ヶ畑公民館、2月4日に上山田住民ホール、下山田公民館でそれぞれ行われた。いずれも参加人数は11名、21名、25名と少なく全体でも57名だった。

主な質疑内容

- ・基本料金は一方的に決めている。
- ・説明会の時間設定がおかしい。
- ・動員が少ない。
- ・脱会者にアンテナの補償は当然だ。
- ・資料が不十分だ。
- ・1千円は高い。
- ・テレビ見るだけで1千円出して加入する人はいない。
- ・難視の方が脱会したら何か対策は。
- ・将来廃業がない。
- ・説明会の動員の仕方が悪い。
- ・国保税も上がる。黒字なら上げる必要はない。
- ・有料化なら撤去

ケーブルテレビ視聴有料化の住民説明会が24年2月1日熊ヶ畑公民館、2月4日に上山田住民ホール、下山田公民館でそれぞれ行われた。いずれも参加人数は11名、21名、25名と少なく全体でも57名だった。

主な質疑内容

- ・基本料金は一方的に決めている。
- ・説明会の時間設定がおかしい。
- ・動員が少ない。
- ・脱会者にアンテナの補償は当然だ。
- ・資料が不十分だ。
- ・1千円は高い。
- ・テレビ見るだけで1千円出して加入する人はいない。
- ・難視の方が脱会したら何か対策は。
- ・将来廃業がない。
- ・説明会の動員の仕方が悪い。
- ・国保税も上がる。黒字なら上げる必要はない。
- ・有料化なら撤去



してくれ。

- ・自主放送は行政情報として価値があるか。
- ・何度も繰り返し放送して見る価値もない。
- ・改革しないとイケないのは給与と報酬だ。
- ・今の財政改革は市長や議員、職員の給与を守るためだ。先にやってみてほしい。
- ・十分満足している。

稲築防犯灯説明会

稲築公民館で防犯灯電気代の有料化説明会が24年2月27日に開かれた。参加者27名

主な質疑

- ・地方財政法27条4項に税外負担の規定がある。住民に負担を求めるとは、法に反しなければならない。法はあるか。
- ・受益者負担だが、通行している人から料金は取れない。
- ・年間1600万円。嘉麻市全体の電気代だ、無駄を省けば無料にできる。
- ・膨大な経費がかかるケーブルテレビやめて防犯灯に回すべきだ。
- ・防犯灯がないため女の子が危険な目にあつた。責任取れるのか。
- ・合併協議会の中に防犯灯の項目がない。

ケーブルテレビ事業セツトボックス入札競争

住民監査請求

ケーブルテレビ事業セツトボックス施設設置指名競争入札に疑義があり、また入札予定価格設定も異常に高いため、嘉麻市に損害を与えたとし、松岡市長と、担当課長に対し損害賠償を求め、元嘉麻市議会議員と嘉穂町元助役の2名から24年3月29日に住民監査請求が起された。同氏達は、今回の入札は物品購入と設置工事がセットになったリース契約だが、現場調査が2500件あり、積算するには時

最終日の採決で、一般会計予算案に対し、よしゆき他8名の議員が、ケーブル基盤整備事業関連予算の凍結の付帯決議動議を出したが、採決の結果賛成少数で、否決された。

予算案の討論
賛成討論1名
反対討論9名
採決の結果
賛成多数で予算案は承認された。

他に、幹線は光ケーブル、引込み線は同軸ケーブルの方式から、光ケーブル、光ケーブルの方式に改める動議は、賛成多数で承認された。



24年度一般会計反対討論 要旨

……市長の発言で最も問題視される点があります。それは、この「緊急」を判断するのが、市長であるということであり、市長が「緊急」と判断すればあらゆる政策は「緊急」になるということとです。この「緊急」とは誰が見てもそうであることであり、松岡市長が「緊急」と判断すれば「緊急」となることを容認すれば自治基本条例の根幹である、「市民と議会と市長等が協働し、また参画してまちづくりをする」ことにはならず、まさしく松岡市長イデオ

ル為政者の独裁政治につながります。つまり、自治基本条例の名の下に、あるときは「市民意見がそうだから従って下さい」となり、あるときは「緊急性があるので市民意見は聞く暇がないから政策決定に従って下さい」となるわけで、まさしくこの条例は、為政者の都合の良い道具と化すわけであり、その中には「市民が主体」の「市民のために」「市民参画」を決めた自治の基本原則を蔑ろにするものであり、時代の求めに逆行するもの以外の何物でもないわけでありです。

……以上討論し反対しました。……

平成24年3月11日生命の水を守る会主催の「産廃シンポジウム」が千葉工業大学の八尋先生を招き行われた。参加者約100名。

講演では、県の産廃行の政のずさんさ、最終処分場の現状、硫化水素の発生原理、環境ホルモンの脅威等を訴えられた。先生は、今後浸透水の分析をしたいとのこと。

田中よしゆき後援会ニュースを「希望の方は」ご連絡ください。定期的にお届けします。現在発行済み号数は23年7月号、9月号、12月号